

第3回太田市景観賞

表彰式・景観講演会

自然、まち、歴史・文化の調和した愛着と誇りのもてる景観をめざして

日時:平成25年12月19日(木)午後1時30分～

会場:太田市学習文化センター 視聴覚ホール

■ 13時30分 表彰式

挨拶: 主催者挨拶 太田市長 清水 聖義
来賓挨拶 太田市議会副議長 大川 陽一

表彰: 大賞 「株式会社今井酒造店」
賞 「三洋電機株式会社東京製作所」
賞 「高林北町みどり環境保全向上推進協議会」

講評: 太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

■ 14時00分 講演会

テーマ: 「まちの景観と屋外広告について」

講師: 環境デザイナー 宮沢 功 氏
(公益社団法人日本サインデザイン協会常任理事)

挨拶

本市は、平成19年9月1日に景観法に基づく景観行政団体となり、太田市景観計画や太田市景観条例、太田市屋外広告物条例のもと、市の良好な景観づくりを推進しています。そこで、景観の保全・形成に対する市民意識の向上を図るため、市の景観づくりに大きく貢献した市民、事業者及び団体等を「太田市景観賞」として表彰しています。

第3回目の本年度は、全部で12件の応募をいただきました。応募された皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。

美しい街並み形成や地域の各種景観活動は、まちづくりの目標です。建物と周囲の自然が織りなす景観、地域活動による美しい街並みの維持は大切な資産であり、地域コミュニティの一体化、活性化に寄与するものです。大賞の建造物はもとより、惜しくも入賞を逸したのものにもその配慮が感じられ、それぞれの地域の景観形成に貢献してくれるものと期待しています。

最後になりましたが、太田市景観賞の実施にあたりご協力くださいました多くの市民の皆様に感謝申し上げ、御礼のあいさつといたします。



太田市長 **清水聖義**

審査 太田市景観審議会表彰等評価部会

部会長：渡邊美樹 副部会長：若林宏宗

部会員：柳澤美樹 小林則子 小林良男 大河原葆 山田昌弘

講評 太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

太田市景観賞は今年で第3回を迎えました。今回は、景観づくり活動、建築物、工作物、屋外広告など幅広い分野から合計12件の応募をいただきました。全件ともに、地域の良好な景観形成に貢献する、素晴らしい取り組みの数々でありました。審査部会では、これらすべての案件について現地審査を行いました。評価の着眼点は、地域の歴史と伝統への配慮、色彩、造形への工夫と周囲の景観との調和、そして景観が長期にわたり保全されており、今後も継続すること、あるいは景観保全活動を促し広く発信していること、などです。現地審査によって確認したところ、どの案件も、活動されている方々の地道なご苦労と熱意が伝わってくる、素晴らしいものでした。受賞者の選考については、審査部会委員7名の採点結果を集計し、審議の後大賞1件、賞2件を決定いたしました。

大賞の株式会社今井酒造店は、伝統的な建物群のたたずまいが周囲の景色と調和しながら、長年にわたり良好に維持されていることにより高い評価を受けました。続いて、賞の三洋電機株式会社東京製作所は、広大な天然芝のグラウンドを維持することの大変なご努力と、緑の空間が周辺環境を引き立てて地域に潤いを与えていることが評価されました。同じく賞の高林北町みどり環境保全向上推進協議会は、地域の問題点について住民自らが解決してゆく活動として、また地区を超えた広範囲にわたる共同の取り組みとして、評価されました。今後も太田市の景観保全への取り組みとして、手引きとなる役割を担われる事を心より願っております。また、今後とも、景観との調和を図る建築や古い建物の外観の維持、景色や景観保全の活動など、数多くの取り組みを期待しております。

大賞「株式会社今井酒造店」（鳥山中町）【酒蔵及び喫茶サロンかぜくら】



《応募コメント》 「酒造」という文化遺産を守り伝えてゆくために、郷土の遺産として誇れるように周囲も整備し、酒蔵の一部を開放するなど各種文化活動を行いながら、地域の人々に親しんでもらえるように努力してきました。5年前には喫茶サロンかぜくらをオープンし、古材や酒道具等を使い落ち着いた空間づくりに努め、また、周囲には緑の多い景観づくりに配慮しました。地域の人々の憩いの場として文化活動の一助になれば幸いです。

《講評》 伝統的な建造物群のたたずまいが周囲の景色と調和しながら、長年にわたり良好に維持されていることにより高い評価を受けた。

賞「三洋電機株式会社東京製作所」（龍舞町）【パナソニックワイルドナイツグラウンド景観保全景観保全】



《推薦コメント》 一年を通じて広大な芝生グラウンドと周辺植栽を維持管理し、チームの練習・試合のみならず、地域の少年ラグビースクールへの貸し出し、ラグビー祭や地域映画への協力で、芝生や緑と接する機会や笑顔を創出しています。工業都市太田に広がる広大な一面緑のグラウンドが市民を癒しています。

《講評》 広大な天然芝グラウンドを維持することの大変な努力と、緑の空間が周辺環境を引き立てて地域に潤いを与えていることが評価された。

賞「高林北町みどり環境保全向上推進協議会」（高林北町）【みどり環境保全向上推進活動】



《推薦コメント》 農地や農業用水等の資源を保全する活動として、地域活動計画を毎年作成し、水利施設の保守点検をはじめ、施設周辺の草刈り、ゴミ拾い、水路の泥上げ、遊休農地等の発生状況の把握を実施しています。また、景観形成をテーマとする計画の策定も行き、活動への多様な主体の参画を促す広報啓発活動等を行いながら、農業水利施設の景観保全を実施しています。

《講評》 地域の問題点について住民自らが解決してゆく活動として、また、地区を超えた広範囲にわたる共同の取り組みとして評価された。

第3回太田市景観賞 景観講演会

講師：環境デザイナー 宮沢 功 氏

演題：「まちの景観と屋外広告について」

講師紹介

【現職名等】

公益社団法人日本サインデザイン協会常任理事、日本サイン学会会員、NPO法人日本デザイン協会副理事長、都市環境デザイン会議会員、NPO法人景観デザイン支援機構代表理事、ヨシモトポール株式会社顧問



【略歴】

1941年東京生まれ、1959年GKインダストリアルデザイン研究所入社。以来ヤマハ発動機のモーターサイクルデザイン、京都信用金庫などのインテリア、大阪万博、つくば博のストリートファニチュア計画・設計、自治体の都市サイン・SF設計を手掛ける。2004年富山ライトレール、2009年市内環状線のトータルデザインを担当し、現在はサイン、ストリートファニチュアをベースにした景観デザインの在り方を研究。

【主な設計】

日本万国博覧会 EXPO' 70 (ストリートファニチュア計画・設計)、筑波研究学園 (都市サイン、都市ゲート計画・設計)、大阪市 (歩行者用サイン計画・設計)、横浜博覧会 (サイン・ファニチュア等環境計画・設計)、ハウステンボス (サイン環境計画・設計)、東京都西新宿地区 (サイン・環境計画)、多摩都市モノレールトータルデザイン、横浜動物園ズーラシア (サイン・環境計画)、さいたま新都心 (サイン・設計)、富山港線トータルデザイン、富山市内環状線トータルデザイン

【授賞歴】

2004年 SDA 優秀賞 横浜市中心街サイン
2006年 グッドデザイン金賞 富山ライトレールトータルデザイン
2008年 SDA 大賞、経済産業大臣賞 富山ライトレールトータルデザイン
2009年 土木学会デザイン賞最優秀賞 富山ライトレールトータルデザイン

【主な著書】

「高度都市開発先端技術集成」(共著)サイエンス・フォーム、 「街のサイン計画」鹿島出版会
「都市デザインと空間演出」(共著)学陽書房、 「パブリックデザイン辞典」(共著)産業調査会